

オンライン会議ツールで、離れた場所でも会議や交流活動をする

<期待される効果>

【児童・生徒】○離れた場所にいる人との交流を行うことで、交流に対する意欲が高まる。

【教師】○児童・生徒の移動時間を削減やペーパーレスにより、効率的な活動が行える。

<学習場面>

発表や話し合い
(協働学習)



<機能・ツール>

【会議】

M365: Teams会議
Google: Google Meet
その他: zoom、webex

<モデル事例> 生徒総会・朝礼等

○議案書をロイロノート上で作成し、全校で画面上で共有する。

○発表者のみ集まり、質問者のやりとりは離れた場所からオンラインで行う。

○離れた場所からでも会議に参加できる実感を持ち、社会に出たときに、より主体的にオンライン活用しようとする姿勢へとつなげることができる。

<ポイント>

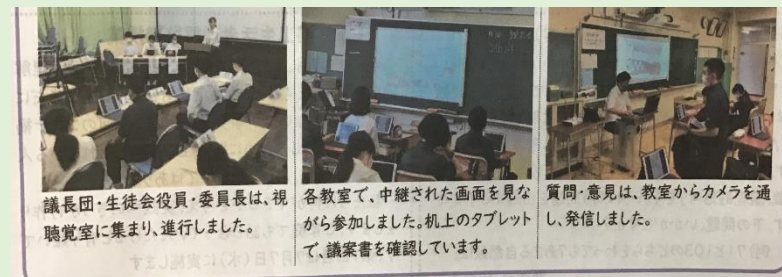
○発表の様子を記録し、あとから確認することができる。

○家庭からも参加することができる。

<注意点>

○発表者が発表している状況を把握するために、端末を2台用意する方がよい場面がある。

○音声の質がマイクによってかなり左右される。



<ハッシュタグ>

#上級 #オンライン会議 #特別活動 #発表 #主体的 #対話的 #ペーパーレス